



災害対策本部

(自衛隊)



災害パネル展示

河原地区まちづくり協議会だより

河原地区まちづくり協議会（河原地区公民館内）鳥取市河原町長瀬45-1 ☎85-2959・fax85-2970

～地震及び土砂災害を想定しての避難訓練～

第11回

河原地区防災訓練実施

令和5年6月10日（土） 参加者460名



(八頭消防署) 放水訓練



(全労済) 煙体験ハウス



黄色いハンカチ大作戦!



(自衛隊) VR体験



避難完了

ぴよんぴよん
ネットの取材

実施後アンケートより

第11回防災訓練を終えて

安全・安心のまちづくり部会長 川戸 洋次

今年度はコロナ禍も緩和されての防災訓練を実施致しました。災害本部終結後のイベントにも多数参加いただき日程を終了することが出来ました。

防災訓練といっても様々な訓練があると思います。初期消火訓練、救命救助訓練、避難訓練、連絡網訓練、他にも多々ありますが、訓練とは災害時に自分自身が最適な行動をとるための事前訓練だと思えます。日頃から訓練を行う事で身の安全を守ることにつながるのだと思えます。近年大災害が発生しておりますが誰もが被災者になる可能性があり、事前の防災対策が必要だと思えます。

この度予期せぬ事態、防災行政無線の放送が流れなかった懸案につきましては、先日の防災訓練報告会においても大変きびしい意見を多くいただきました。二度とこの様な事がおきないように、総合支所・鳥取市危機管理課宛に意見を提出したいと思います。

部落名	避難者数	ハンカチ 掲示数
上渡一木	27	25/28
下渡一木	31	30/52
河原	75	108/182
谷一木	24	22/31
長瀬	55	41/50
袋河原	54	100/112
布袋	50	50/60
稲常	39	24/27
旭河	不参加	
鮎ヶ丘	56	40/146
夢ヶ丘	12	12/29
合計	423	452/717

※ ハンカチ掲示数は717世帯中423世帯が掲示（63.0%）

防災無線が流れなかった経緯と原因

6月23日に開催された防災訓練報告会で、河原町総合支所地域振興課長と鳥取市危機管理部危機管理課より謝罪と説明がありました。

5月30日、河原町まちづくり協議会から河原総合支所へ防災行政無線の放送原稿を提出、その後支所から危機管理課へ防災行政無線の放送を依頼するという流れで、当日訓練放送が流れる予定だった。しかし、放送を登録する危機設定が正しく行われていなかったことと、危機設定の再確認が出来ていなかった危機管理課による人的ミスのため、訓練放送が流れなかった。

訓練にもっとも必要だと思われることや要望

- ・今回の訓練の起点となる防災無線が流れませんでした。（40分遅れ）これは、防災上の危機感が低いと思います。訓練でできないことは、本番ではできないでしょう。誰でもミスはつきものですが、防災でのミスは命に関わります。今回はそれを全力で取り返す対応はできたのでしょうか？
- ・6/23の報告会で、今回のミスを分析して、原因と経過を丁寧に説明していただきたいと思えます。（市役所側に問題があれば、市役所の責任者の同席も必要ではないでしょうか？）その内容は、後日部落総会で集落に報告します。
- ・防災無線の確認を十分に。
- ・避難指示が出ると聞いていたが、いつ出たのかわからなかった。
- ・避難指示の放送の時間が把握できていなかった。十分な連絡をお願いしたい。
- ・放送がなかった。
- ・避難放送が全くなく避難場所に行くまでの訓練という感じがしなかった。
- ・有線放送があった方が良い。
- ・消火栓の放水訓練に力を入れる。
- ・部落の人に配れる基本操作図（パンフレット）がほしい。（放水訓練と思われる）
- ・「シナリオ」作りが必要だと思えます。避難経路を確認するだけでなく、どのような災害でどんな状況に陥っているのか細かく決める事が重要。
- ・避難所も含め、各部落の実情に即した訓練計画が必要。
- ・避難訓練に参加した事が終了ではなくイベント会場での実体験が重要である。
- ・イベントに参加した人が少なかった。
- ・もっと若い人の参加を？
- ・昨年までは各部落に花苗が配布されていたのが、今年は芝公園の参加者のみに配布となりました。それを集落に伝えたところ、「近くの集落は行きやすいのでもらいやすいが、遠くの集落はもらいにくいので、不公平ではないか」との声がありました。イベント来場者への非常食試食や豚汁の提供は理解できますが、イベント来場者への花苗配布は今後なくてもよいと思えます。
- ・豚汁や花苗の配布は必要？それだけを目当てにしていないか？

たくさんのご意見ありがとうございました！